

一般質問（要旨）

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

公明党

藤浪 清司 議員

新たな地域公共交通について

（質問）新たな移動手段として、デマンド型交通を軸に交通空白地域での導入を検討することだが、①想定している導入地域、②具体的な取り組み・スケジュールについて尋ねる。

（答弁）①主に公共交通空白地域、または地形の高低差や高齢化が進み移動に困っている地域を想定。②令和5年度に地域の調査、望ましい移動手段、運行エリアや運賃などを検討し、地域を選定していく。令和6年度に事業者選定、国への事業申請、実証運行の開始を予定。

その他の質問 ○子どもの権利と健康を守る取り組み



自由民主党
鈴鹿市議団

森 雅之 議員

小中学校 体育館空調について

（質問）体育館空調の実証実験について伺う。

（答弁）モデル校となるのは、自主避難所となる白子小学校および長太小学校と、学区の人口が一番多く、たくさんの避難者が想定される玉垣小学校の3校で、6月末に設置される予定である。2年間のリース契約期間中に、エアコンを設置した3校それぞれの使用時の冷暖房の効果、利便性、光熱費、使用温度、球技を行った場合の適性などについて、モニタリング調査を実施する。

その他の質問 ○公共交通政策 ○企業誘致 ○道の駅



無所属

矢田 真佐美 議員

ごみ処理及び認定ごみ袋について

（質問）分別ごみ回収後のリサイクル資源の現況を問う。また、市認定ごみ袋の購入が物価高騰で家計に痛い。単身や高齢者世帯など時代の変化に即した規格の見直しを検討されたい。

（答弁）分別収集されたごみは、それぞれの再資源化事業者へ引き渡しリサイクルしている。リサイクル推進により、ごみ処理・埋め立て量は減少傾向にあり、施設の延命化が図れている。また、認定ごみ袋の規格はL・M・Sの3種類。一般に流通しているサイズであり、収集業務の支障を懸念し、現在のところ規格の見直しは考えていない。



市民の声

市川 昇 議員

鈴鹿市史再編纂について

（質問）鈴鹿市史の初版が発刊されてから約43年、最終版が発刊されてから約34年と長期間が経過したが、①鈴鹿市史の内容および現状について、②鈴鹿市史再編纂への取り組みについてお聞きしたい。

（答弁）①長期間が経過する中で、新たな歴史的発見がたくさんあり、その新たな事実の把握と記録を残しながら管理や整理をしていきたい。②再編纂か続編か、紙冊子か電子媒体かなど、人的、予算的な総合的な判断をしながら、市制何周年などの時期も含めた検討も必要であると考えている。



市民の声

中西 大輔 議員

街並みを活かす施策について

（質問）白子駅東地域において、観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」を活用し、空き家を活用した街並みを活かす施策を行ってはどうか。

（答弁）空き家を活用した取り組みは、用途規制にも鈴鹿市都市マスタープランにも合致している。若者対象のワークショップでも白子駅に着目した提案があった。国土交通省からも「居心地が良く歩きたくなるまちなか」などが掲げられており、白子駅東地域の取り組みについて、地域住民の盛り上がりや機運の醸成を見て検討していきたい。



市民の声

藤井 栄治 議員

地域公共交通の確保について

（質問）少子高齢化が進む本市において、公共交通空白地域を含む「地域づくり協議会」の区域全域で、オンデマンド型交通など新たな移動手段に取り組むべきではないか。また、C-BUSの太陽の街・平田線の収支率が最低であることから近鉄千里駅までの延長を検討すべき。

（答弁）新たな移動手段が、本市の地域公共交通ネットワークにおいて適切な役割を果たすことができるよう、鈴鹿市地域公共交通会議において協議を進めていく。路線延長などについては南部地域C-BUS運行計画の再検討が必要となる。

